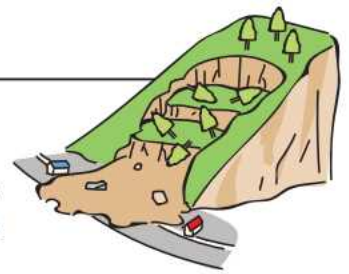


土砂災害編



土砂災害から身を守るために

市内には、400カ所以上の土砂災害危険箇所があります。近年、全国各地で頻発している集中豪雨や土砂災害から命を守るためには、今までは大丈夫だったから……という意識では大変危険です。気象情報や避難情報などを参考に、各家庭の状況に応じて早めの避難を開始してください。

土砂災害の知識

がけ崩れ

雨や雪どけ水、地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちる現象です。



土石流

山や川の石・土砂が、大雨などにより、水と一緒に激しく流れ下る現象です。



こんな予兆があったら土砂災害が起こる可能性があります。

- ・がけから小石がバラバラと落ちてくる
- ・斜面から水が湧き出てくる
- ・地面にひび割れができる
- ・「山鳴り」や木立の裂けるような音がする
- ・川の水が濁ったり、木が流れてくる
- ・雨が降り続けているのに、川の水が急に減り始める



防災ガイド・ハザードマップ

警戒レベルと避難情報など

警戒レベルで避難のタイミングを伝えます

警戒レベル (洪水、土砂災害)	住民のとるべき行動	行動をとる際の判断に 参考となる情報
5	命を守る最善の行動	災害の発生情報
4	全員避難 ▶ 安全な場所へ避難を	避難指示(緊急) 避難勧告
3	高齢者等は避難 ▶ 他の住民は準備	避難準備・ 高齢者等避難開始
2	避難行動の確認	注意報等
1	心構えを高める	警報級の可能性

土砂災害に備え、9カ所の避難所を開設します。

- ・みなと小学校
- ・室ガス文化センター
- ・子ども発達支援センター
- ・市民会館
- ・海陽小学校
- ・天神小学校
- ・旭ヶ丘小学校
- ・サンライフ室蘭
- ・白蘭小学校

避難の際には、身の回り品や軽食・飲み物など、必要なものは各自で持参してください。

土砂災害に備えて

土砂災害の多くは雨が原因で起こります。1時間に20mm以上、または降り始めから100mm以上の降雨量になったときには、十分な注意が必要です。

日ごろから家族全員で避難場所や避難経路を決めておきましょう。

普段からテレビやラジオなどの災害情報に注意を払うようにしましょう。